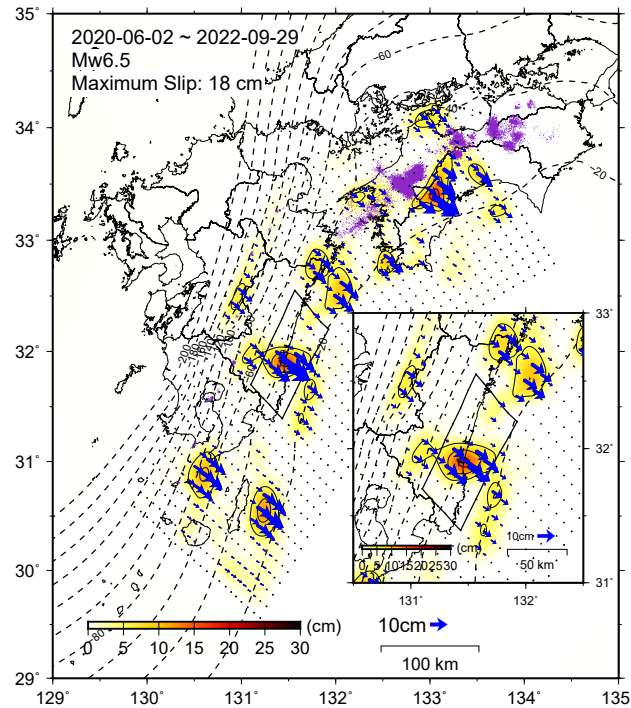
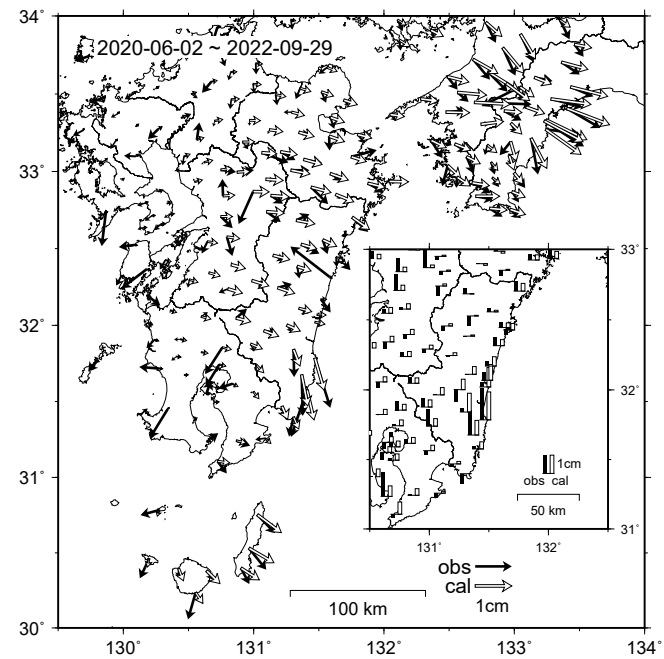


GNSS データから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布



観測値（黒）と計算値（白）の比較



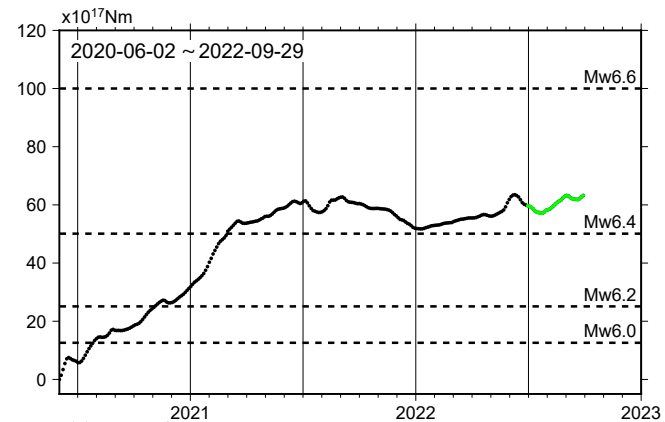
Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを青色表示している。

紫丸：低周波地震（気象庁一元化震源）（期間：2020-06-02～2022-09-29）
黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線（Hirose et al., 2008）

使用したデータ：GEONET による日々の座標値（F5、R5 解）
※電子基準点の保守等による変動は補正済み
※平成 23 年東北地方太平洋沖地震および平成 28 年熊本地震の粘性緩和による変動を補正している。
※日向灘の地震（2022-01-22; Mw6.6）の地震時変動を除去している。
トレンド期間：2006-01-01～2009-01-01（年周・半年周成分は補正無し）
ただし、宮崎平野周辺は 2007-10-01～2009-03-01、
種子島周辺は 2008-03-01～2011-03-01。

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側
観測値：3 日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束
固定局：三隅
※共通誤差成分を推定

モーメント※時系列（試算）



※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合の Mw（モーメントマグニチュード）に換算できる。